

平成30年度名古屋大学大学院

博士課程教育リーディングプログラム（オールラウンド型）

PhDプロフェッショナル登龍門

学生募集要項

平成30年度本博士課程教育リーディングプログラムに入学させる学生を
下記により募集する。

———— アドミッションポリシー ————

日本とフロンティア・アジア等を拠点とし、博士号取得後、職業人として政財官学界で活躍しグローバル社会を牽引するトップリーダーとなるべき豊かな資質を備えた人材を受入れる。

1 応募資格

次の各号のいずれにも該当し、平成30年4月に本学の博士課程（前期課程）1年に入学した者、ならびに平成30年10月に入学することが決まっている留学生（法学研究科実務法曹養成専攻を除く）

- (1) 名古屋大学大学院博士課程（前期課程）修了後、同博士課程（後期課程）進学を希望する者
- (2) 博士課程（後期課程）修了後、企業、官公庁、国際機関など広く社会で活躍することを希望する者

2 募集人員

募集人員：正規履修生10名程度（日本人学生6名、留学生4名程度を想定＊1）。
準履修生若干名。

3 応募手続

希望者は、とくに所属研究科からの指示がない場合には、所属研究科の学務担当者に、下記応募書類をそろえて平成30年4月27日（金）までに提出する。

4 応募書類

(1) 履歴書（指定様式）

(2) 小論文（A4用紙2枚程度にまとめること、様式不問、日英どちらでもOK）

「課題：フロンティア・アジアで活躍するプロフェッショナルに求められるものは何か」

(3) 指導教員の推薦書（指定様式、厳封の上同封のこと）

(4) 英語を母国語としないものにあつては、英語力に関する客観的な能力証明（IELTS、TOEFL、TOEICのスコア等。コピー可）

5 選抜方法

所属研究科において、第一次選考が行なわれる。その結果、PhD登龍門推進室による第二次選考の対象になった者に対して、書類審査及び面接が行なわれる。面接試験は、6月上旬を予定している。面接では自身の研究内容を10分、本プログラムでの抱負を5分にまとめて発表する。（プレゼンテーション・ソフト等を使用することが望ましい。）

6 最終合格者発表

登龍門ウェブサイトに掲載する。併せて、合格者には文書で通知する。
本プログラムへの参加手続きに関する詳細については、合格通知時に併せて連絡する。

7 入学料及び授業料

本プログラムへの応募費用や、本プログラム参加のための入学料・授業料の費用は発生しない。ただし、プログラムへの参加により、入学料及び授業料の免除が受けられるわけでないことに留意すること。

8 経済的支援

本プログラム正規履修生は、平成30年10月から月額20万円、準履修生は月額8万5千円の学修奨励金を受け取ることができる。また、住居に関する支援を別途講ずる。＊2

9 その他注意事項

(1) 応募後、応募書類の変更はこれを認めない。

- (2) PhD登龍門推進室は、必要に応じて応募者から追加で情報の提供を求めることがある。
- (3) プログラムへの参加が許可された後、応募書類に虚偽の記載が含まれることが発覚した場合は、参加許可を取り消す場合がある。
- (4) 個人情報の取り扱いについて；応募にあたって提供された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、選抜、選抜結果の通知、及びプログラムへの参加手続き等、本学における管理運営上必要な手続きを行うためにのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しない。
- (5) 平成30年4月10日（火）17時から野依記念学術交流館にて、本プログラムの説明会を行うので、応募希望者はできるだけ参加すること。
- ＊1 「日本人学生」「留学生」の定義について、詳細はPhD登龍門推進室に事前に相談すること。
- ＊2 支援期間は、平成30年10月から平成31年3月までとする。予算状況により、学修奨励金の支給計画・支給金額が変動する可能性がある。

平成30年4月

本件に関する連絡先

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町
国立大学法人名古屋大学 PhD 登龍門推進室
電話番号 052-789-3595 FAX 番号 052-789-4647
E-mail 10ryumon02@adm.nagoya-u.ac.jp
URL <http://www.phdpro.leading.nagoya-u.ac.jp/>